JZ

EX-word

DATAPLUS 3

取扱説明書

保証書付

XD-GW7150
XD-GW7350
XD-SW7200
XD-SW7300
XD-SW7400
XD-SW7500
XD-SW7600

本機をご使用になる前に

はじめに

基本を覚えよう

上手に使おう

学習用コンテンツを使おう

全辞典の紹介

お役立ち情報

・ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
・本書はお読みになった後も大切に保管してください。
・本書に記載しているイラストは「XD-GW7150」を使用しています。あらかじめご了承ください。

CASIO

RJA517631-001V02

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

⚠ **危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⃠ ⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。

● ●記号は「しなければならないこと」を意味しています。

⚠ 危険

アルカリ電池について

アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。
   そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠ 警告

煙、臭い、発熱などの異常について

煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災·感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. USBケーブルをはずす。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

USBケーブルについて

USBケーブルは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災·感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- ケーブルやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する

USBケーブルについて

濡れた手でUSBケーブルやプラグに触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 警告

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
- 極性（+と−の向き）に注意して正しく入れる

火中に投入しない

本機を火中に投入しないでください。
破裂による火災・けがの原因となります。

分解・改造しない

本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。
内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。

医療電子機器に近づけない

ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部（胸のポケットなど）から離してご使用ください。ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。
万一異常を感じたら直ちに本機を体より離し、医師に相談してください。

⚠ 注意

USBケーブルについて

USBケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、ケーブルを引っ張らない（必ずUSBケーブルのプラグを持って抜く）
- USBケーブルのプラグはコネクターの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときは、USBケーブルのプラグをコネクターから抜く

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 本機で指定されている電池以外は使用しない
- 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく

USBケーブル接続コネクター部への接続

コネクター部には、付属品以外のものを接続しないでください。火災、感電の原因となることがあります。

重いものを置かない

本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

⚠ 注意

表示画面について

- 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

使用場所について

病院内や航空機内など、携帯電話の使用が禁止されている場所では使用しないでください。医療用電子機器など周辺の機器に影響をおよぼす恐れがあります。

大切なデータは控えをとる

本機やSDメモリーカードにパソコンから転送した内容は、パソコン側のデータも消去せずバックアップとして保管してください。本機の故障、修理などにより、記憶内容が消えることがあります。

⚠ 注意

磁気カードに近づけない

磁気カード（クレジットカード、キャッシュカード、プリペイドカードなど）と一緒に持ち歩いたり、保管したりしないでください。

本機は磁気を帯びた部品を使用しているため、磁気カードが使用できなくなることがあります。

ヘッドホン端子への接続

ヘッドホン端子には付属品以外は接続しないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

ヘッドホンについて

ヘッドホンを差し込んだまま、本機をぶらさげたりしないでください。

落下によるけがの原因となることがあります。

音量について

ヘッドホンを使うときは音量に注意してください。

大音量で聞くと難聴の原因となることがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(ＶＣＣＩ)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

その他の使用上のご注意

●本機は精密な電子部品で構成されています。データが正常に保持できなくなったり、故障の原因になりますので、以下のことに注意してください。

・落としたり、「強い衝撃」、「曲げ」、「ひねり」などを加えないでください。また、ズボンのポケットに入れたり、硬いものと一緒にカバンに入れないようにご注意ください。

・ボールペンなど尖ったものでキー操作しないでください。

・液晶表示部や手書きパネルに強い力を加えたり、ボールペンなど尖ったもので突いたりしないでください。液晶画面はガラスでできていますので、傷ついたり、割れることがあります。

・分解しないでください。分解により故障した場合は、保証期間内でも有料修理となります。

・静電気が発生しやすい場所では使わないでください。

●極端な温度条件下での使用や保管は避けてください。

低温では表示の応答速度が遅くなったり、点灯しなくなったりします。また、直射日光の当たる場所や窓際または暖房器具の近くなど、極端に温度が高くなる場所には置かないでください。ケースの変色や変形、または電子回路の故障の原因になります。

●湿気やほこりの多い場所での使用や保管は避けてください。

水が直接かかるような使用は避けるとともに、湿気やほこりにも十分ご注意ください。電子回路の故障の原因になります。

●お手入れの際は、乾いた柔らかい布をご使用ください。

特に汚れがひどい場合は、中性洗剤に浸した布を固くしぼっておふきください。なお、シンナーやベンジンなどの揮発性溶剤は使用しないでください。キーの上の文字が消えたり、ケースにシミをつけてしまう恐れがあります。

あらかじめご承知いただきたいこと

●本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

●本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。

●本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。

●本書および本機の使用、故障・修理などによりデータが消えたり変化したことで生じた損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

●取扱説明書に記載している画面やイラストは、実際の製品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

もくじ

安全上のご注意 表紙の裏

本機をご使用になる前に

付属品を確認しましょう …… 10
初回の電池セットとセット後の操作 …… 11
電源を入れる・切る …… 14
バックライトについて …… 15
パソコンに接続する前のご注意 …… 16
この説明書の使いかた …… 17
辞典固有の説明項目について …… 18

はじめに

本機の特長 …… 19
各部のなまえとはたらき …… 23
　タッチペンを使うには …… 25

基本を覚えよう

基本的な操作を覚えよう …… 32

上手に使おう

戻る/リストを押せば、ひとつ前の画面へ …… 79
よく使う辞典は辞典／モードキーで一発表示 …… 80
ことばからことばへ、辞典から辞典へ …… 82
発音も確かめられる音声機能 …… 89
解説や図などを見る …… 97
成句や複合語、成語を見る …… 99
熟語を見る …… 100
単語の変化表や活用表を見る 独 仏 伊 西 …… 101
変化形の原形候補を調べる 独 仏 伊 西 …… 102
スペルがあいまいな語を調べる …… 103
成句や例文を調べる …… 104

ピンインを入力して調べる 中 ……105
漢字（親字）の部首の画数や総画数で探す 中 ……106
ハングルを入力して調べる 韓 ……107
用例を見る……108
文字の大きさを変える／ズームする／レイアウトを変える ……109
その他の便利な機能 ……115

学習用コンテンツを使おう

本機に収録されている学習用コンテンツ……154
学習機能：電子辞書でどこでも英会話……155

全辞典の紹介

収録辞典の使いかた ……162
古典出典一覧（大辞泉）……204
近代作家略称一覧（大辞泉）……216
俳号一覧（大辞泉）……218
中国語音節表（中日辞典）……220
中国語標準字形照合表（中日辞典）……222
部首索引早見表（中日辞典）……223
中国語拼音ーカタカナ対象表（日中辞典）……224
日中字形対象表（日中辞典）……225
ハングル早見表……226

お役立ち情報

こんなときには……227
こんな症状がおこったら… ……240
リセットするときは……242
電池を交換する……244
付録……248
設定の変更……274
仕様……277
さくいん ……280
保証・アフターサービスについて ……286
お客様ご相談窓口 ……288

付属品を確認しましょう

ご使用になる前に、以下の付属品がそろっているか確認してください。

●アルカリ単4形乾電池　2本
●USBケーブル
●専用ヘッドホン
●タッチペン（本体に収納）
●手書きパネル保護フィルム　1枚
●シリアルナンバーシール　2枚

※お買い上げになられた商品（特別梱包商品など）によっては、付属品が異なる場合があります。

■シリアルナンバーシールについて

本製品には、シリアルナンバーが印刷されているシールが2枚同梱されています。

シリアルナンバーは、オンラインサービスご希望の方がエクスワードホームページ（➔ **279**ページ）から登録をされる際に必要なものです。

2枚のシールは、以下のようにご使用ください。

- 1枚は、右欄に貼ってください。
- 1枚は、お客様控えとして大切に保管してください。

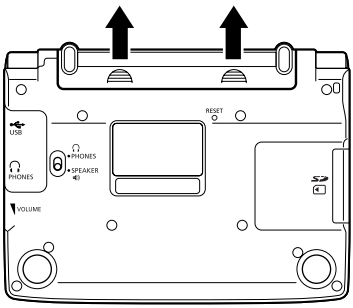
シリアルナンバーシールを貼ってください

初回の電池セットとセット後の操作

本機を使用する前に、同梱のアルカリ単4形乾電池2本を入れてください。

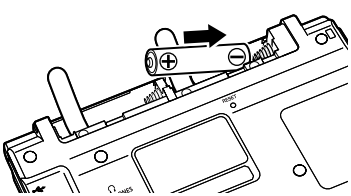
1 **電池ブタを取り外す**

2 ヵ所の ⏏ 部分を押しながら矢印の方向へスライドさせます。



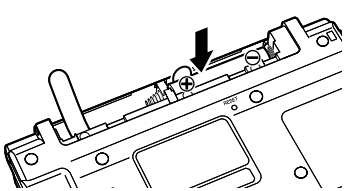
2 **電池の（−）極側をバネに押しつけながら**

電池の極性（＋−）を間違えないように正しく入れます。



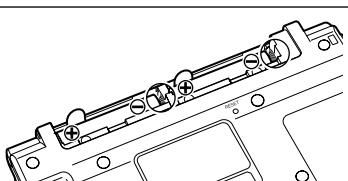
3 **（+）極側をケースに押し込む**

取り出し用リボンの上に、電池を載せます。



正しくセットされた状態

バネがはみ出したり、電池の下にもぐり込まず、まっすぐに縮められている状態



次ページに続く

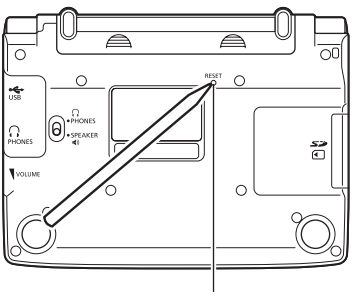
4 電池ブタを取り付ける

このとき、電池ブタから「タッチペン➔ **25**ページ」を取り出してください。

5 本体裏面にあるリセットボタンを押す

本機に付属の「タッチペン」で押します。

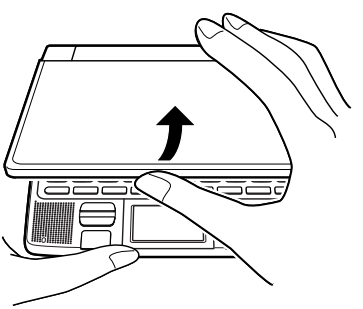
※ つまようじや鉛筆など、先端の折れやすいものを使わないでください。故障の原因になります。



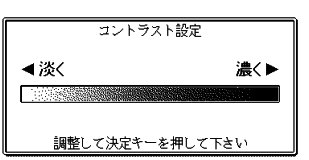
リセットボタン

6 中央部分に指をかけて、本機を開ける

コントラスト設定画面が表示されます。

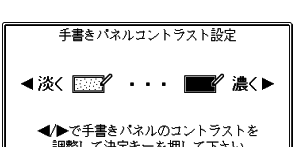


7 ◀または▶を押して画面の明るさを調整する



8 訳／決定を押す

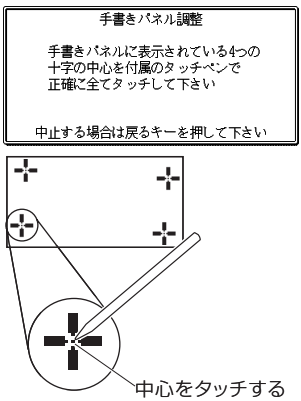
手書きパネルのコントラスト設定画面が表示されます。



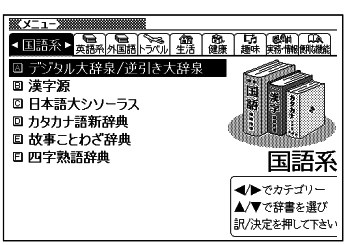
9 ◀または▶を押して、手書きパネルの明るさを調節する

10 訳／決定を押す

11 「手書きパネル調整」の画面が表示されたら、手書きパネルの4つの十字マークの中心をひとつひとつ付属のタッチペンでタッチします。



メニュー画面が表示されます。

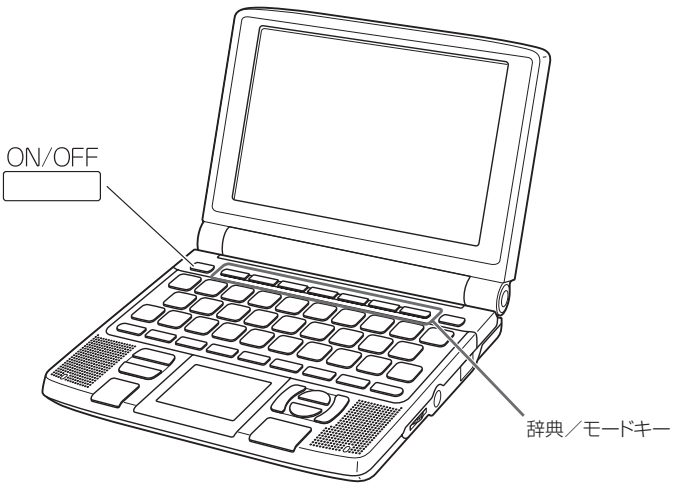


- 付属の電池は、自己放電によりいくらか消耗している場合があります。「仕様」に記載されている使用時間に満たないうちに寿命となることがあります。ご了承ください。
- ご使用方法やSDメモリーカードの組み合わせによっては、電池寿命が著しく短くなることがあります。
- オキシライド乾電池*などニッケル系一次電池を本機に使用しないでください。電池の特性と本機の仕様の不一致により、所定の電池寿命を満たさなかったり、誤動作の原因となることがあります。

*『オキシライド乾電池』は、松下電器産業株式会社の商標または登録商標です。

- 辞書をひく操作の前に、必ず45ページをお読みの上、かな文字の入れかたをご確認ください。工場出荷時には「ローマ字かな入力」方式に設定されています。

電源を入れる・切る



本機は、**開け閉めすることで電源の入・切**ができるようになっています。

■電源を入れる

本機を開けると、自動的に電源が入ります。

- 前回電源を切ったとき（あるいは自動的に切れたとき）と同じ画面が表示されます。
- 電池の無駄な消耗をさけるため、電源が入った状態で数分間何も操作をしないと、自動的に電源が切れます（オートパワーオフ）。
- 電源が切れているときに ON/OFF を押すと電源が入ります。

電源を入れるとともに、希望の辞典を表示するには

電源が切れているときに、辞典／モードキー（➔ **80**ページ）のいずれかを押すと、電源が入るとともに押したキーに対応する辞典の最初のページが表示されます。

■電源を切る

本機を閉じると、自動的に電源が切れます。

- 電源が入っているときに ON/OFF を押すと電源が切れます。

バックライトについて

薄暗い所で画面を見やすくするには、バックライトを点灯させます。
電池の消耗を少なくするために、必要がなければバックライトは消してください。

■バックライトを点灯させるには

バックライト を押します。

■バックライトを消すには

もう一度 バックライト を押します。

■バックライトの点灯時間

バックライトは、何もキー操作をしないと、約30秒後に自動的に消えます。

- 何かのキーを離さず押している場合でも、約30秒後に自動的に消えます。

■バックライトと電池寿命

- バックライトを頻繁に使うと、電池寿命が短くなります。
- 以下の電池寿命は、おおよその目安です（新品のアルカリ電池を使用し、使用温度25℃の場合）。

バックライト使用条件	電池寿命	
	XD-GW7150/GW7350	XD-SW7200/SW7300/SW7400/SW7500/SW7600
1時間中4分入力・検索、55分表示、スピーカーで1分音声出力、バックライト点灯なし	約70時間	約75時間
1時間中4分入力・検索、55分表示、スピーカーで1分音声出力、バックライト3分点灯	約60時間	約60時間
1時間中4分入力・検索、55分表示、スピーカーで1分音声出力、バックライト15分点灯	約40時間	約45時間
1時間中4分入力・検索、55分表示、スピーカーで1分音声出力、バックライト連続点灯	約20時間	約20時間

パソコンに接続する前のご注意

本機とパソコンを接続する前に、用途に応じて必ず以下のソフトをパソコンにインストールしてください。

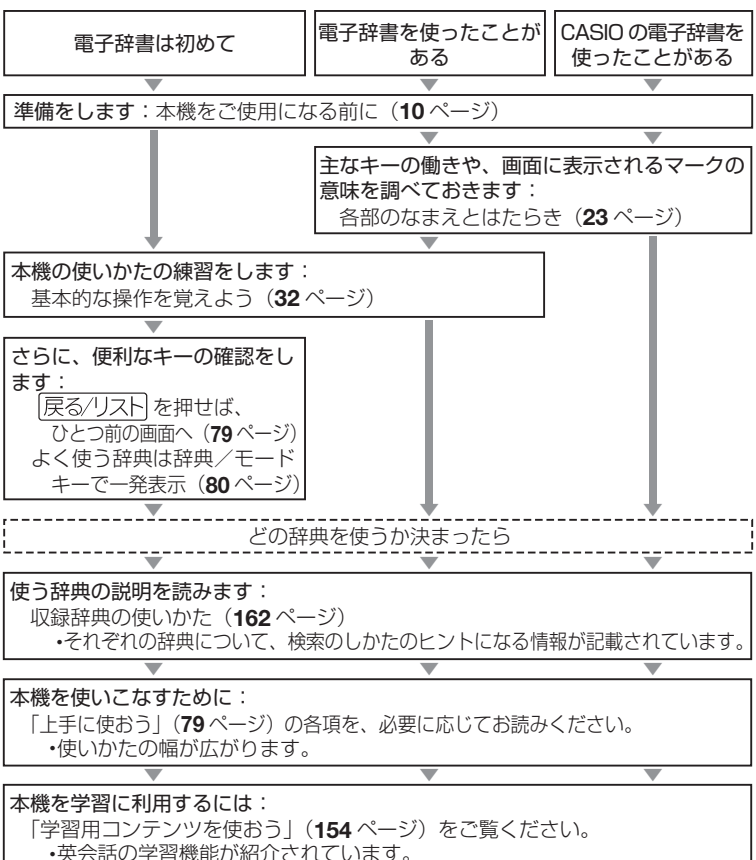
用　途	使用ソフト
エクスワードデータプラス、エクスワードデータプラス2、エクスワードデータプラス3対応ソフト（別売CD-ROM）をご利用の場合	「Ex-wordライブラリーソフト」 •ご利用のソフトのCD-ROM内にあります。 •インストール方法はCD-ROMに付属の取扱説明書をご覧ください。
パソコンのテキストデータを本機で見る場合	「Ex-wordテキストローダー」 •カシオ ホームページからパソコンにダウンロードしてください。 •インストール方法は、本書「Ex-word テキストローダーをインストールする」（➔ **139**ページ）をご覧ください。

- インストール前に本機とパソコンを接続すると、誤動作の原因になります。
- ソフトをインストールすると、データ転送に必要な専用USBドライバーが自動的にインストールされます。

この説明書の使いかた

この説明書は、電子辞書ははじめてという方から、すでにCASIOの別の電子辞書を使ったことがある方まで、すべての方に本機を使いこなしていただけるように作られています。以下の図を参考にしてください。

•本書の用語はさくいん（➔ **280**ページ）で説明のあるページを調べることができます。



辞典固有の説明項目について

本書の説明は、複数の電子辞書を対象にしています。
そのため、説明の項目の中には、特定の機種に含まれる特定の言語（日本語系、英語系以外）の辞典だけを扱ったものがあります。また、特定の言語に関する操作だけを扱ったものがあります。
そのような項目では、説明の対象となっている言語の記号が見出しのあとについています。

本書で使われている言語の記号

- 独：ドイツ語
- 仏：フランス語
- 伊：イタリア語
- 西：スペイン語
- 中：中国語（簡体字）
- 韓：韓国語

例

スペルがあいまいな語を調べる 独 仏 伊 西
この項目は、英語系、ドイツ語系、フランス語系、イタリア語系およびスペイン語系の辞典を収録した電子辞書をお持ちのかたがお読みください。

ピンインを入力して調べる 中
この項目は、中国語系の辞典を収録した電子辞書をお持ちのかたがお読みください。

本機の特長

■ すぐれた検索方法あれこれ

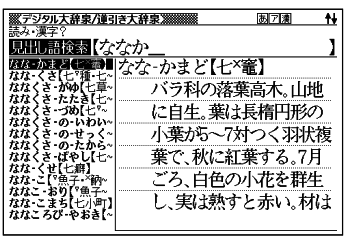
◆すぐ出るサーチ

調べたいことばの先頭の文字を入力すると、あてはまる候補を表示します。

➔ 37ページ

例

国語辞典で「ななかまど」を調べようとして、「ななか」まで入力したところで候補の中に「ななかまど」が現れています。



◆ジャンプ（ことばからことばへ・辞典から辞典へ）

意味や解説の画面の中で使われていることばを、同じ辞典や別の辞典にジャンプして調べることができます。➔ 82、84ページ

◆さらに検索

●画面分割検索

意味や解説などの画面を上下に分割して、ふたつの辞典を同時に表示できます。

➔ 86ページ

●絞り込み／語順指定検索

例文・成句検索候補をさらに絞り込んだり、単語の語順を指定して調べることができます。➔ 125ページ

◆スペル／原形候補検索

見出し語を検索するとき、スペルがうろ覚えでも、入力したスペルに近い単語を探すことができます。また、単語の変化形から原形の候補を探すこともできます。➔ 72ページ

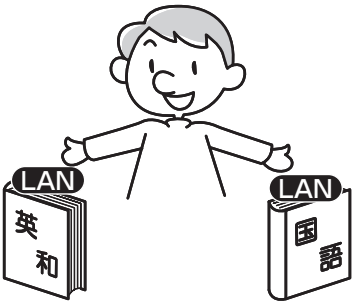
次ページに続く

◆複数辞書検索

調べたいことばを、いくつかの辞典をまとめて対象にして、検索できます。
➔ **117**ページ

例

「LAN」ということばを、このことばが載っている辞典すべて（英和辞典、国語辞典など）から簡単な操作で引き出すことができます。



■ 手書き入力も可能

キーボードの代わりに、手書きパネルと付属のタッチペンを使って、手書きで検索語を入力することもできます。➔ **57**ページ

■ 各辞典／モード共通の便利な機能

◆音声機能

単語/熟語/例文などの発音（ネイティブ音声･合成音声）を聞くことができます。
➔ **89**ページ

◆お気に入り機能

よく使う辞典などをお気に入りに登録することができます。登録は、手書きパネルを使って簡単にできます。➔ **122**ページ

◆ヒストリーサーチ機能

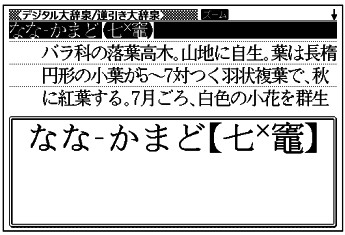
少し前に調べたことばを再度調べたいとき、検索の履歴（ヒストリー）から直接辞典を引くことができます。➔ **131**ページ

◆文字サイズ変更

画面に表示する文字の大きさを切り替えることができます。➔ **109**ページ
（本書に掲載の画面例は、とくに断りのない限り24ドット表示のものです。）

◆ズーム機能

画面の文字を拡大表示することができます。画数の多い漢字の一画一画を確認するときなどに便利です。➔ **111**ページ

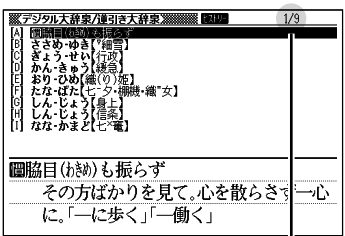


◆単語帳

調べた単語や例文、成句の中から、「覚えておきたい重要なもの」を単語帳に登録できます。また、覚えた単語や例文にチェックマークを付けることもできます。➔ **126**ページ

◆リスト件数表示

例文検索結果やヒストリーなどのリスト表示中に、候補の総数とその中での順番を示します。➔ **28**ページ



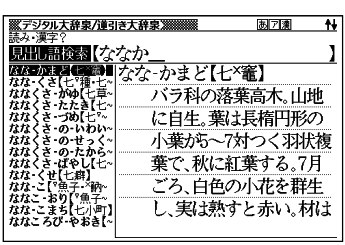
候補数9個のうち、反転している候補が1番目であることを表しています。

◆ガイド機能

各辞典の凡例（編集方針、利用のしかたなど）や収録内容の説明などを見ることができます。➔ **134**ページ

◆プレビュー表示

候補の一覧を表示しているときでも、反転している見出し語の意味の一部を、画面の右に表示します。➔ **28**ページ



次ページに続く

◆レイアウト変更

一覧（リスト）や意味表示中の画面のレイアウトを変えることができます。
➔ **112**ページ

◆バックライト機能

薄暗い所でも使用できます。➔ **15**ページ

◆ライブラリー

いろいろな辞典やテキストファイルを、パソコンを使って本機に読み込むことができます。➔ **138**ページ

「本機の画面に表示される字体」について

- 本機の画面に表示される字体はＪＩＳ Ｘ 0213：2004の漢字集合に準拠したフォントを使用しています。
  2004年改正で変更のあった字形に対応しています。
  例「逢」→逢、「辻」→辻、「飴」→飴、「祇」→祇、「葛」→葛、「撰」→撰
  など
- 本機の画面に表示される表・図は画面上での一覧性を重視して収録しており、一部に簡略化されたフォントを使用しています。また、表・図以外でも本機の表示ドット構成の都合により、簡略化された字体が表示されることがあります。

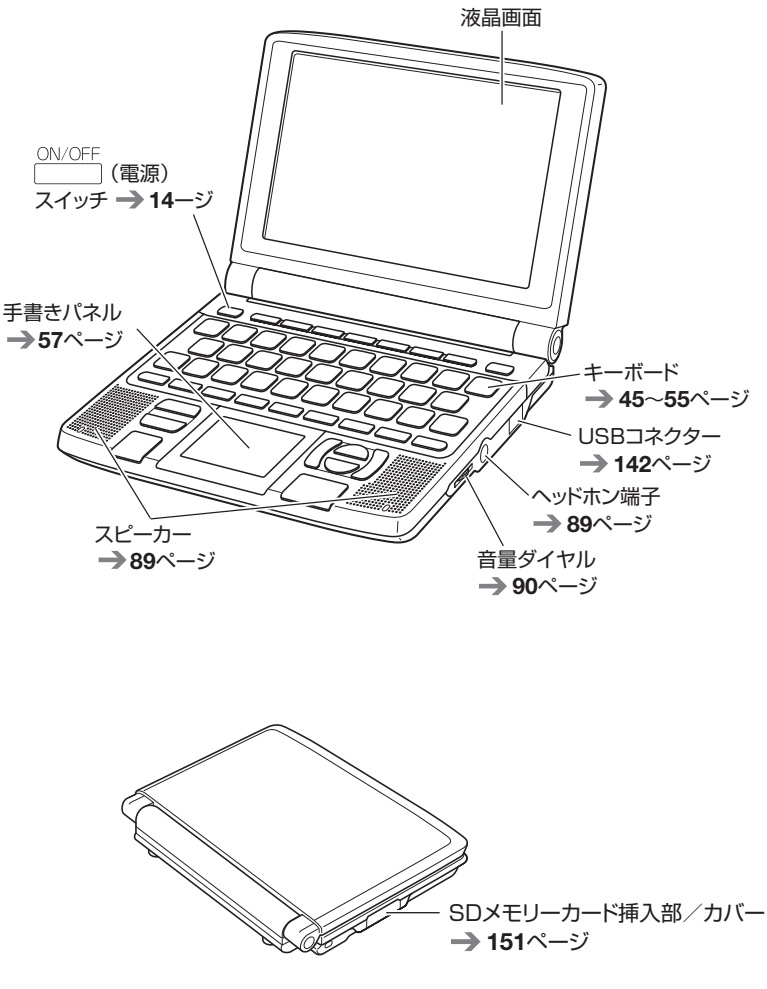
「XD-GW7350/SW7300で使用している中国語」について

- XD-GW7350/SW7300で使用している中国語は、「普通話」「簡体字」に対応しています。

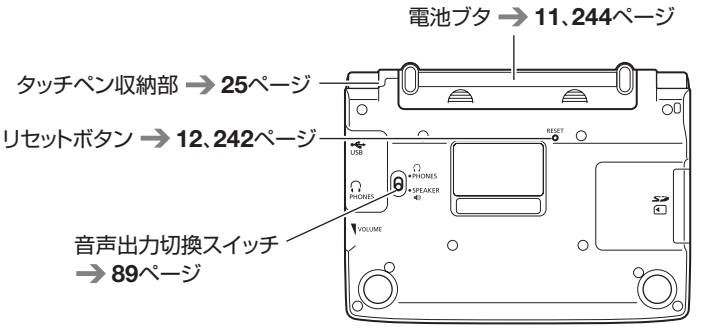
「データ中の商品名」について

- 本機に収録している辞典などのデータ中に掲載されている商品名は、各社の商標または登録商標です。

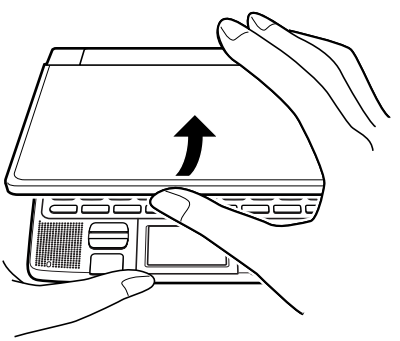
各部のなまえとはたらき



次ページに続く



■ 本機の開けかた



中央部分に指をかけて、開けます。

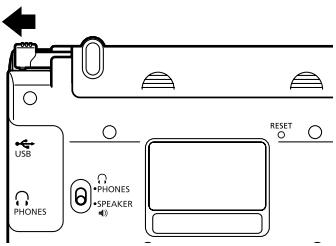
タッチペンを使うには

本機では、タッチペンを使って「手書きパネル」部に文字を書く(タッチする)ことができます。
また、「手書きパネル」部に表示される操作をすることができます。

■ タッチペンを取り出す・しまう

●タッチペンを取り出す

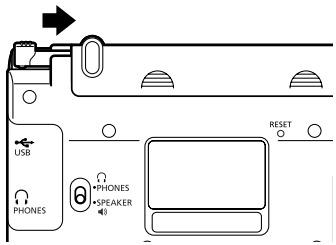
下記のイラストのように、引き出します。



まっすぐに引き出してください。

●タッチペンをしまう

下記のイラストのように、しまいます。

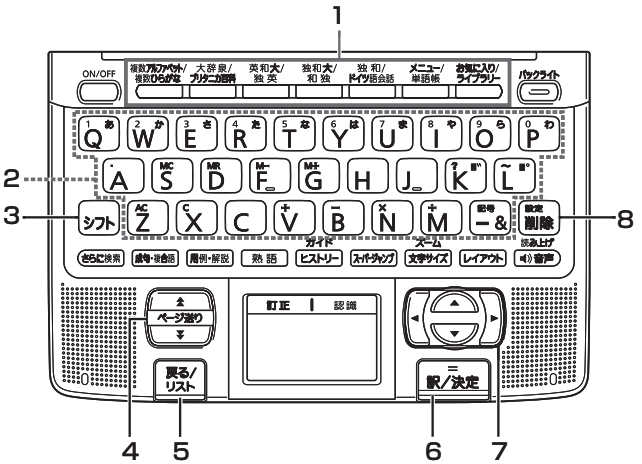


- まっすぐに入れてください。
- 落ちないように、しっかりと奥まで入れてください。
- なくさないように注意してください。

おもなキーのなまえとはたらき

ここでは、普段の操作によく使うキーを説明します。

•すべてのキーについての説明 ➔ **248**、**252**ページ



1 辞典／モードキー

それぞれのキーに登録されている辞典の最初のページを表示します。それぞれのキーには、ふたつの辞典などが登録されています。キーを押すごとに、ふたつの辞典などが切り替わります。

➔ **80**ページ

2 キーボード

文字や数字を入力するときに使います。➔ **45** ～ **55**ページ

3 シフトキー

- 「?」や「～」を入力するときに使います。➔ **48**ページ
- 辞典／モードキーに登録されているふたつめの辞典やモードを使うときに、まずこのキーを押してから辞典／モードキーを押す、という使いかたもできます。➔ **81**ページ
- 設定を変更するための操作で使います。➔ **275**ページ

4 ⏫ ⏬（ページ送り）キー

- 画面の表示に続きがあるときに押すと、いま見えていない部分が表示されます。➔ **77**ページ
- いま調べていることばのひとつ前またはひとつ後のことばの意味を見たいとき、シフトを押し、離してから⏫または⏬を押します。➔ **77**ページ

5 戻る/リストキー

ひとつ前の画面に戻るときに押します。➔ **79**ページ

6 訳／決定キー

調べたいことばを入力したり、項目を選んだら、このキーを押して先に進みます。➔ **34**、**39**ページなど

7 ▲▼◀▶キー

- カーソル（文字の下の横線）を左右に動かすときに◀▶を押します。➔ **55**ページ
- 白黒反転表示を前後左右に動かして希望の項目を選ぶときに▲▼◀▶を押します。➔ **34**ページ

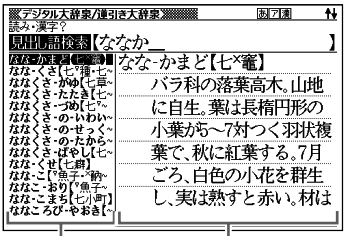
8 設定 削除キー

- まちがって入力した文字を訂正するときに使います。➔ **55**ページ
- 設定を変更するための操作で使います。➔ **275**ページ

画面の見かた

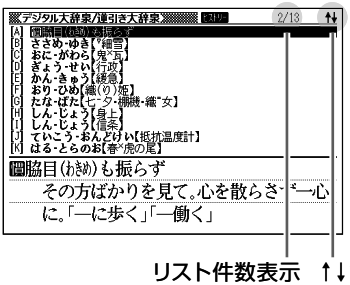
■ リスト（一覧）とプレビュー

すぐ出るサーチ（➔ **37**ページ）で検索すると、入力中の文字に該当することばの候補のリストが表示されます。また、反転表示されている候補のことばの意味、解説の一部が画面右側に表示されます（プレビュー）。

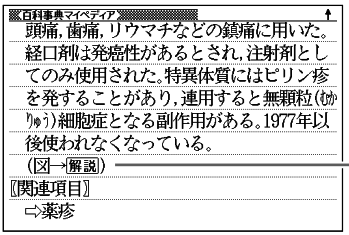


■ リスト件数と画面の続き表示

リスト件数表示は、候補の総数とその中での順番を示します。
↑↓記号は、画面の上下に続きがあることを示します。



■ 意味や解説の画面で表示される記号



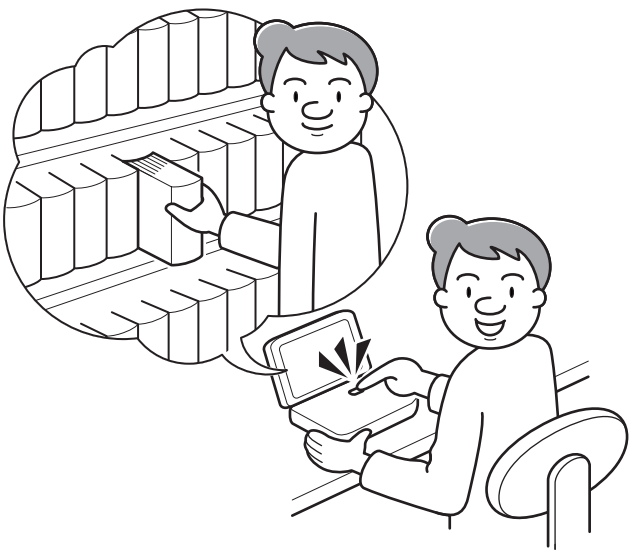
記　号	意　味
解説	そのことばの解説（図など）が収録されていることを示します。➔ **97**ページ
熟語	漢和辞典や「中日辞典」（XD-GW7350/SW7300）、「中日大辞典」（XD-GW7350）に、調べている漢字や親字を含む熟語が収録されていることを示します。➔ **100**ページ
成語	「中日辞典」（XD-GW7350/SW7300）に、調べている文字（親字）を含む成語が収録されていることを示します。➔ **99**ページ
成句	英英辞典などに、調べている単語を使った成句が収録されていることを示します。➔ **99**ページ
成・複	英和辞典に、調べている単語を使った成句や複合語が収録されていることを示します。➔ **99**ページ
用例	英和辞典などに、調べている単語を使った用例が収録されていることを示します。➔ **108**ページ
	英和辞典などで、ネイティブの発音による音声を聞くことができるこをと示します。➔ **91**ページ
トゥルーボイス	この表示が出た場合ネイティブによる発音で音声を聞くことができます。➔ **91**ページ
読み上げ	この表示が出た場合，合成音声による発音を聞くことができます。➔ **94**ページ
英 語など、言語を示す記号	どの言語の発音のルールにしたがって発音されるかを示します。➔ **96**ページ
	同じ辞典の中に、そのことばを含む別のことばや、関連項目などが収録されていることを示します。➔ **83**ページ
[⇨変化] [⇨活用] [⇨変化表] [⇨活用表]	調べている単語の変化表や活用表が収録されていることを示します。➔ **101**ページ

次ページに続く

記　号	意　味
ｼﾞｬﾝﾌﾟ	ジャンプ機能を使うと表示されます。➔ **83**、**85**ページ
ﾋｽﾄﾘｰ	ヒストリーサーチ機能を使うと表示されます。➔ **131**ページ
ｽﾞｰﾑ	画面をズームすると表示されます。➔ **111**ページ

基本的な操作を覚えよう

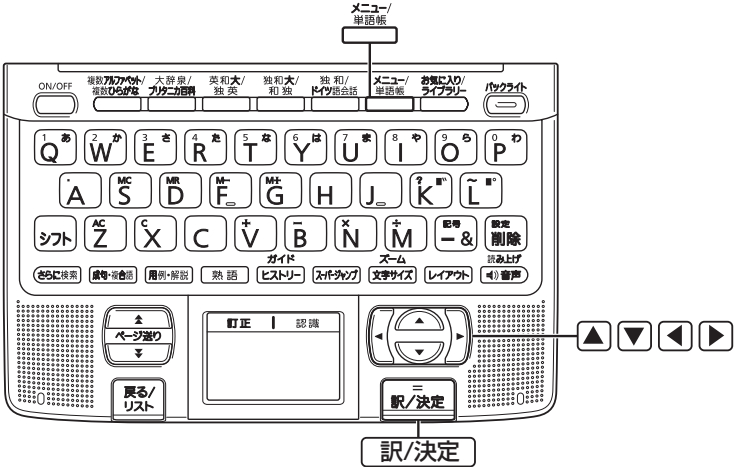
◆まず、辞典を選びます

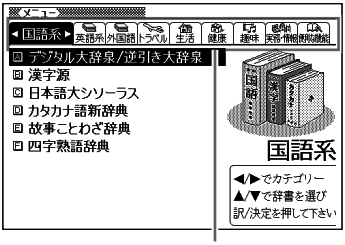


いろいろな辞典が入っている電子辞書。
これが実際の辞典なら、本棚の前に立って、使いたい辞典を探すところ。
本機には、本棚の代わりに、中身の辞典をいくつかのカテゴリーに分類した「メニュー画面」があります。まずは、「メニュー画面」の使いかたを覚えましょう。

メニューから辞典を選ぶ

■ 使うキー



操　作	画　面
本機を開ける 電源が入り、前回電源を切る直前の画面になります。	
メニュー/単語帳 **を押す**	メニュー画面  「国語系」「英語系」などのカテゴリー（分類）

次ページに続く

◀ ▶でカテゴリーを選ぶ

「英語系」の辞典を探すとき

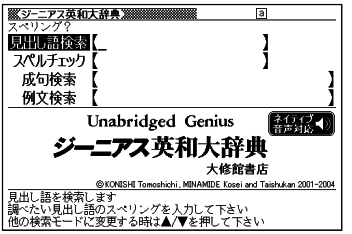
「英語系」の辞典一覧

▲ ▼で辞典を選ぶ

「ジーニアス英和大辞典」を見るとき

訳／決定を押す

「ジーニアス英和大辞典」の最初のページ

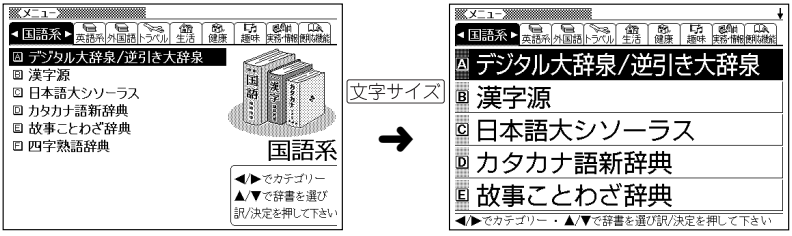


- このまま数分間なにも操作しないと、自動的に電源が切れます。電池の無駄な消耗を防ぐためです。
- 本機を閉じても、電源が切れます。もう一度開けると同じ画面になります。
- メニュー/単語帳 を押して、別の辞典を探すことができます。

■ メニューを拡大する

メニューを拡大して、見やすくすることができます。
メニュー画面で、文字サイズを押します。

例 国語系のメニュー画面で



もう一度文字サイズを押すと元のメニュー画面に戻ります。

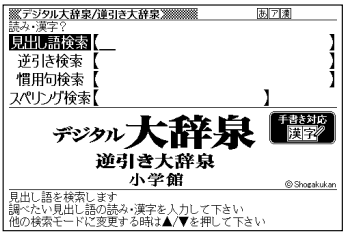
- 拡大画面右上の↓マークは、辞典の一覧に続きがあることを示しています。
- ▲ ▼で辞典を選び、訳／決定を押します。
- ⏫ ⏬を押すと、画面単位で上または下に送ることができます。
- 拡大画面で◀ ▶を押すと、拡大されたままカテゴリーが切り替わります。

各辞典の「最初のページ」について・・・・・・・・・

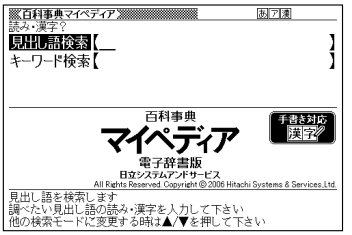
それぞれの辞典の「最初のページ」は、その辞典への入り口。
ここで、実際に調べたいことばを入力したり、目次感覚で希望の見出しを選んだりして辞典の中へと入っていきます（検索します）。

■「最初のページ」あれこれ

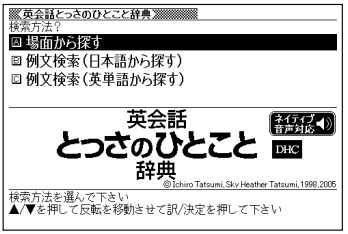
国語辞典の場合



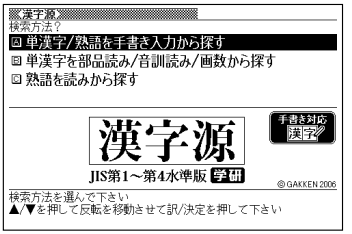
百科事典の場合



英会話辞典



漢和辞典の場合



収録辞典のほとんどで、「最初のページ」の使いかた（検索のしかた）は4つのパターンのどれかにあてはまります。
4つのパターンを覚えれば、いつでも簡単に本機を使うことができます。

では、基本の4パターンを代表的な辞典で練習してみましょう。

検索のしかたの基本4パターン

検索のしかたの基本4パターンとは、

パターン1 ▶ **調べたいことばの最初の何文字かを入力** → **このページ**
パターン2 ▶ **調べたいことばを全部きちんと入力** → **39ページ**
パターン3 ▶ **見出しをたどる** → **41ページ**
パターン4 ▶ **いろいろな条件を入力する** → **43ページ**

です。

- 辞典によっては、これらのパターンにあてはまらない特殊な検索のしかたがあります。それらについては、「**収録辞典の使いかた**」(→**162**ページ)で、個別に説明します。
- 一部の辞典では、調べたいことばを入力するのではなく、キーワードを入力して、関連する項目を探し出すことができます。→ **キーワード検索115**ページ

パターン1 ▶

■ 調べたいことばの最初の何文字かを入力

調べたいことばの最初の文字を入力するだけで検索結果の画面に切り替わります（すぐ出るサーチ）。

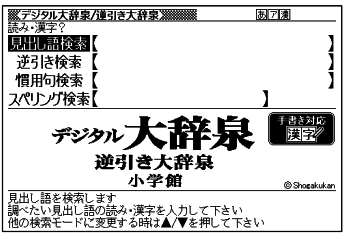
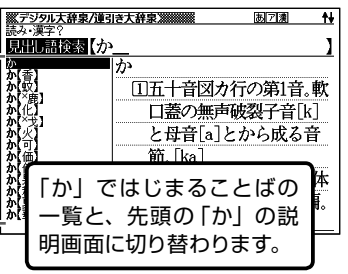
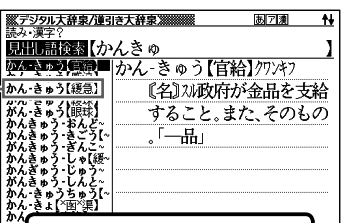
- それぞれの辞典で、日本語の入力が必要なときは「かな入力」に、アルファベットの入力が必要なときは「アルファベット入力」に、自動的に切り替わります。
- 文字の入力方法についてのまとまった説明 → **45**ページ
- 「すぐ出るサーチ」の機能をオフにする → **276**ページ

例 「緩急」（かんきゅう）ということばの意味を「デジタル大辞泉」で調べるとき

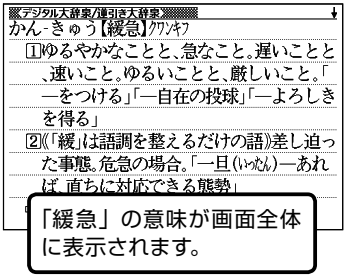
「デジタル大辞泉／逆引き大辞泉」の「最初のページ」から、次のように調べていきます。

- 「デジタル大辞泉／逆引き大辞泉」は、メニューの「国語系」の中にあります。

次ページに続く

操　作	画　面
▲▼で「見出し語検索」を選ぶ	
「か」と入力する K A と押します。 • かなめくり入力のときは か を1回押します。➔ かなめくり入力**46**ページ	
「んきゅ」と入力する N N K Y U と押します。 • かなめくり入力のときは わ を5回、か を2回、そして や を5回押します。	

▲▼で「緩急」を選び、訳／決定を押す



- 戻る/リストを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

パターン2▶

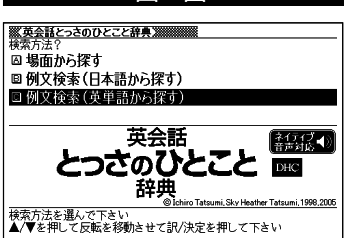
■ 調べたいことばを全部きちんと入力

- それぞれの辞典で、日本語の入力が必要なときは「かな入力」に、アルファベットの入力が必要なときは「アルファベット入力」に、自動的に切り替わります。
- 文字の入力方法についてのまとまった説明 ➔ **45**ページ

例「happy」という語を使った例文を調べるとき

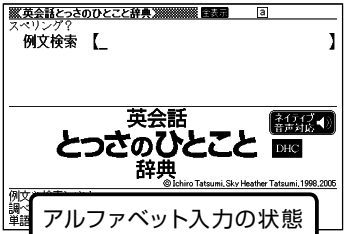
「英会話とっさのひとこと辞典」の「最初のページ」から、次のように調べていきます。

- 「英会話とっさのひとこと辞典」は、メニューの「英語系」の中にあります。

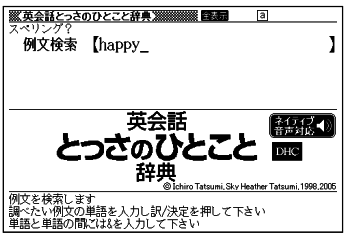
操　作	画　面
▲▼で「例文検索」を選ぶ	

次ページに続く

訳／決定を押す



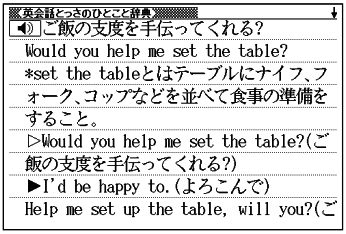
「happy」と入力する
H A P P Yと押します。



訳／決定を押す
あてはまる例文の一覧が表示されます。

「↓」があるときは、いま表示されている例文の先（下）にさらに続きがあります。

▲▼で調べたい例文を選び、訳／決定を押す



- 戻る/リストを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

パターン3▶

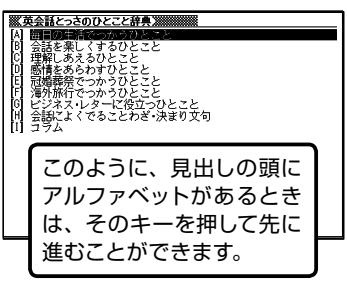
■ 見出しをたどる

辞典によっては、あらかじめ用意されている目次を追っていくだけで目的の情報にたどりつくことができます。

例 英語の発音を調べるとき

「英会話とっさのひとこと辞典」を使ってみましょう。
「最初のページ」から、次のように調べていきます。

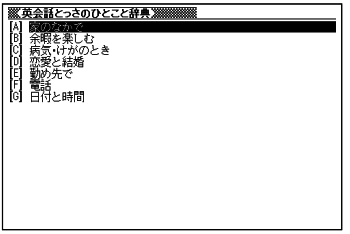
- 「英会話とっさのひとこと辞典」は、メニューの「英語系」の中にあります。

操　作	画　面
▲▼で「A 場面から探す」を選び、訳／決定を押す または、Aを押します。	

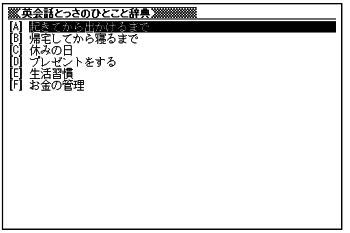
このように、見出しの頭にアルファベットがあるときは、そのキーを押して先に進むことができます。

次ページに続く

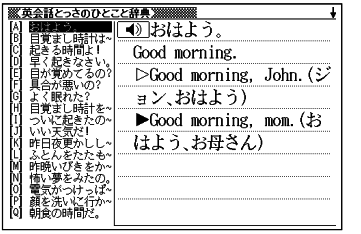
▲▼で「A 毎日の生活でつかうひとこと」を選び、訳／決定を押す
または、Aを押します。



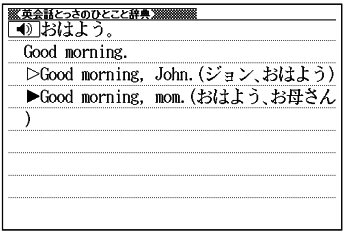
▲▼で「A 家のなかで」を選び、訳／決定を押す
または、Aを押します。



▲▼で「A 起きてから出かけるまで」を選び、訳／決定を押す
または、Aを押します。



▲▼で調べたいことばを選び、訳／決定を押す
または、調べたいことばの先頭のアルファベットを押します。
(「おはよう。」ならA)



• 戻る/リストを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

パターン4 ▶

■ いろいろな条件を入力する

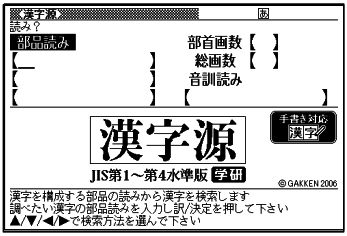
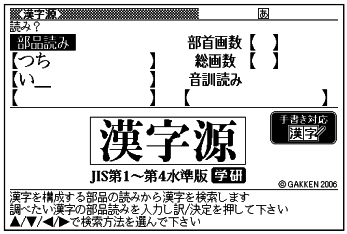
これは、ちょっと特殊な検索方法です。
「漢字源」という漢和辞典で漢字を調べるときなどに使います。
いろいろな条件を入力しますが、たくさん条件を入力するほど、目的の漢字が見つかりやすくなります。

• 文字の入力方法についてのまとまった説明 ➔ **45**ページ

例「戴」について調べたいが、部首がよくわからないとき

「漢字源」の「最初のページ」から、次のように調べます。

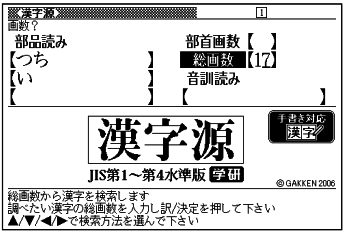
- 「漢字源」は、メニューの「国語系」の中にあります。
- この漢字には、土（つち）という字と異（い）という字が入っています。また、総画数は17です。これらが手がかりです。

操　作	画　面
「B 単漢字を部品読み／音訓読み／画数から探す」を選び、訳／決定を押す または、Bを押します。	
「部品読み」の最初の欄に「つち」、ふたつめの欄に「い」と入力する	

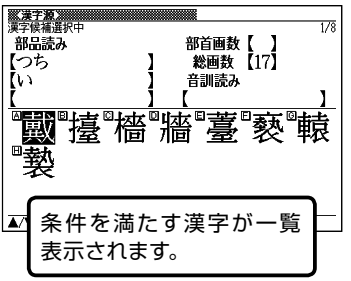
次ページに続く

▲▼◀▶で「総画数」の欄を選び、「17」と入力する

- 数字は、キーボードのいちばん上の列にあります。

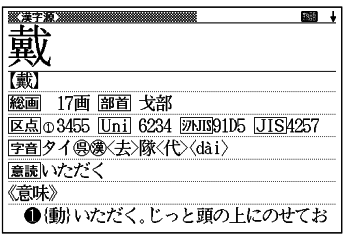


訳／決定を押す



◀▶で「戴」を選び、訳／決定を押す

または、Aを押します。



- この例では、ふたつめの部品読みに「い」ではなく「ことなる」と入力すると、総画数を入力しなくても目的の漢字が見つかります。
- 「戴」の部首が「ほこ」、とわかっているときは、部品読みに「ほこ」、つまり正式な部首名を入力してもかまいません。
- 「部首画数」を入力したときは、続いて部首を選びます。▲▼◀▶で部首を反転させ、訳／決定を押してください。
- 戻る/リストを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

文字の入力方法

本機では、調べたいことばなどを入力する場合、辞典や入力項目によって、自動的に「ひらがな入力」（あいうえお・・・）、「アルファベット入力」（abcde・・・）、あるいは数字入力（1、2、3・・・）に切り替わります。ここでは、キーボードを使って文字を入力する方法を説明します。

- 本機では、手書きパネルを使って手書きで文字を入力することもできます。
➔ **57**ページ

■ ひらがなの入力：ローマ字かな入力

ローマ字かな入力とは、ひらがなをローマ字のつづりで入力する方法です。

- 本機は、お買い上げいただいたときはローマ字かな入力の状態になっています。

ローマ字かな入力のときに使うキーボード

- どのキーを押すかを調べるには ➔「**ローマ字／かな対応表**」**256**ページ

例

入力することば	押すキー
いんこ	I N K O
みかん	M I K A N N
さんぽ	S A N N P O または S A M P O
きょう	K Y O U
らっこ	R A K K O または R A X T U K O
えーる	E ー R U
とぅーるーず	T W U ー R U ー Z U

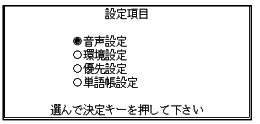
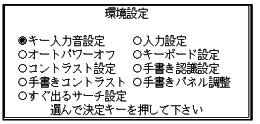
次ページに続く

■ ひらがなの入力：かなめくり入力

かな入力とは、「く」なら[か]を3回、というように携帯電話と同じ感覚でひらがなを入力する方法です。

かな入力に切り替える

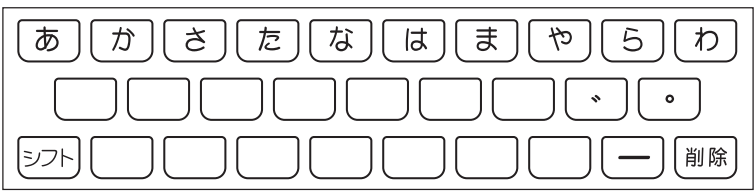
本機は、お買い上げいただいたときはローマ字かな入力の状態です。
かな入力にするには以下のようにして切り替えます。

操　作	画　面
シフトを押し、指を離して削除を押す	
▲▼で「環境設定」を選び、訳／決定を押す	
▲▼◀▶で「キーボード設定」を選ぶ 「キーボード設定」の横を●にします。	
訳／決定を押す	

▼で「かなめくり入力」を選んで訳／決定を押す

- もとのローマ字かな入力に戻すには、上記の手順で「ローマ字かな入力」を選びます。

かな入力のときに使うキーボード



例

入力することば	押すキー
ものわかり	ま ま ま ま ま な な な な な わ か ら ら
きょう	か か や や や や や や あ あ あ
ぷろだくしょん	は は は ゜ ら ら ら ら ら た ゛ か か か さ さ や や や や や や わ わ わ わ わ
らっこ	ら た た た た た た か か か か か
えーる	あ あ あ あ ー ら ら ら

押すキーと押す回数

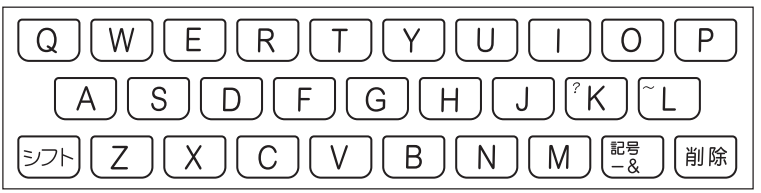
キー ＼ 回数	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ
1	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ
2	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	ゐ
3	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ゑ
4	え	け	せ	て	ね	へ	め	ゃ	れ	を
5	お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゅ	ろ	ん
6	ぁ			っ				ょ		ゎ
7	ぃ									
8	ぅ									
9	ぇ									
10	ぉ									

次ページに続く

■ アルファベットの入力

本機では、アルファベットはすべて小文字で入力されますが、検索に支障はありません。

アルファベット入力のときに使うキーボード



例

入力する文字、ことば	押すキー
internet	I N T E R N E T
?	シフト K （シフトを押し、離してからK）
～	シフト L （シフトを押し、離してからL）

■ ドイツ語の入力について 独 （XD-GW7150）

- ウムラウトなどの綴り字記号、ハイフン等を除いた形で入力してください。
- ßはs,sと、ä,ö,üはa,o,uと入力してください。

例 「groß」は「gross」と入力
「Mädchen」は「Madchen」と入力

- 常に定冠詞をともなう名詞は、定冠詞を除いた形で入力してください。

例 「die Elbe」は「Elbe」と入力
「die Niederlande」は「Niederlande」と入力

- 2語以上の見出し語は、連続してつづりを入力してください。

例 「magna cum laude」は「magnacumlaude」と入力

■ フランス語の入力について 仏 (XD-SW7200)

• アクサン・テギュなどの綴り字記号、ハイフン等を除いた形で入力してください。

例 「café」は「cafe」と入力
「peut-être」は「peutetre」と入力

• çはcと、œはoeと入力してください。

例 「ça」は「ca」と入力
「cœur」は「coeur」と入力

• 代名動詞はseまたはs'を除いた形で入力してください。

例 「s' envoler」は「envoler」と入力

■ イタリア語の入力について 伊 (XD-SW7400)

• àなど綴り字記号がついた文字は綴り字記号を除いた形で入力してください。

例 「città」は「citta」と入力

• ハイフンは除いた形で入力してください。

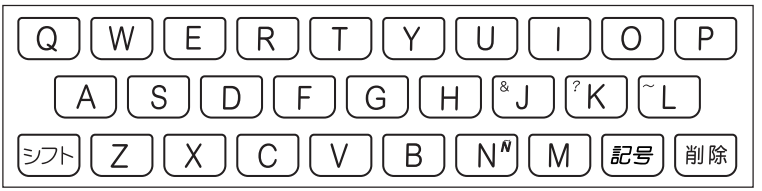
例 「sud-occidentale」は「sudoccidentale」と入力

• 2語以上の見出し語は、連続してつづりを入力してください。

例 「in loco」は「inloco」と入力

次ページに続く

■ スペイン語の入力について 西 (XD-SW7500)



- éなど綴り字記号がついた文字は綴り字記号を除いた形で入力してください。

例 「éxito」は「exito」と入力

- ハイフンは除いた形で入力してください。

例 「foto-fija」は「fotofija」と入力

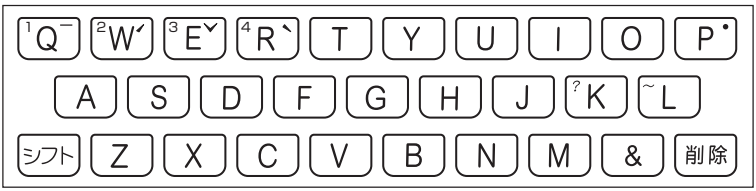
- 「Ñ」は、シフトを押し、離してから「N」を押して入力します。

例 「enseñar」はE N S E シフト N A Rと押して入力

■ 中国語のピンイン入力 中 (XD-GW7350/SW7300)

XD-GW7350/SW7300では、中国語を「ピンイン」で入力できます。

中国語入力のときのキーボード



中国語では、音節をピンインで表します。
音節には、a、o、e、i、er、ai、ei、ao、ou、an、en、ang、eng、ongなどがあり、アルファベットで記述されます。
入力時には、ピンインに従いアルファベットを入力します。
※“ü”は「v」と入力してください。
また、各音節には、4種類の高低のアクセント（四声）と軽声があり、アルファベットの音節の母音の後に入力します（四声や軽声を入力しなくても、中国語を調べることができます）。

- “¯”の入力..... シフトを押し、離してから Q ¯ を押します。
“¯”は「1」で表わされます。
- “´”の入力..... シフトを押し、離してから W ´ を押します。
“´”は「2」で表わされます。
- “ˇ”の入力..... シフトを押し、離してから E ˇ を押します。
“ˇ”は「3」で表わされます。
- “`”の入力..... シフトを押し、離してから R ` を押します。
“`”は「4」で表わされます。
- “·”の入力..... シフトを押し、離してから P · を押します。
“·”は「0」で表わされます。

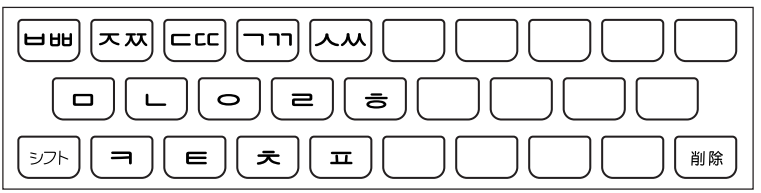
例 「zai4jian4（再见）」は、Z A I シフト R J I A N シフト R と押して入力します。

次ページに続く

■ ハングルの入力 韓 (XD-SW7600)

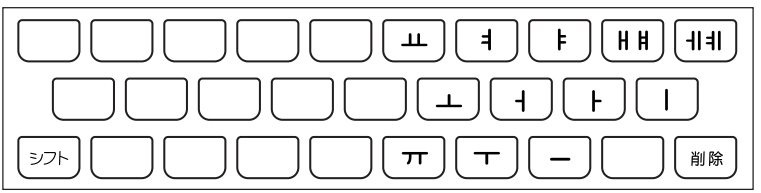
XD-SW7600の朝鮮語辞典、韓日辞典、日韓英固有名詞辞典でハングルを入力するときは、キーボードは自動的にハングル入力になります。
子音／母音／パッチムを入力するときに使用する文字キーは異なります。

子音入力のキーボード



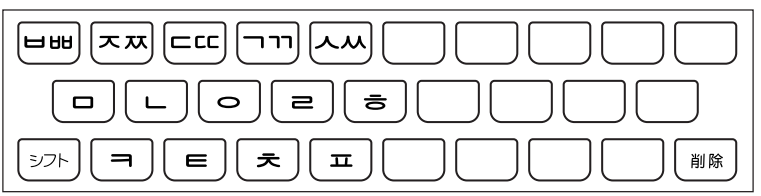
※「ㅃ」、「ㅉ」、「ㄸ」、「ㄲ」、「ㅆ」を入力するときは、シフトを押し、離してから入力したい子音が印刷されているキーを押します。

母音入力のキーボード



※「ㅒ」、「ㅖ」を入力するときは、シフトを押し、離してから入力したい子音が印刷されているキーを押します。

パッチム入力のキーボード



※一部、パッチムを入力できない組合せがあります。

例「박」は、以下のように入力します。

(1) 子音を入力
ここでは[ㅂ]を押します。

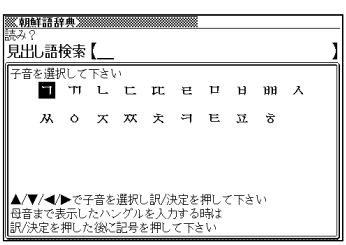
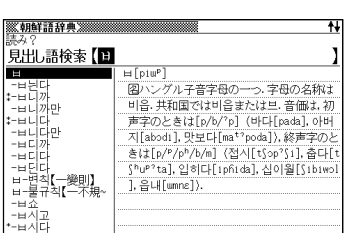
(2) 母音を入力
ここでは[ㅏ]を押します。

(3) パッチムを入力
ここでは、[ㄱ]を押します。

■ ハングルの入力（記号を使って）（XD-SW7600）

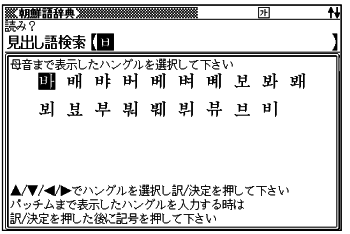
XD-SW7600の朝鮮語辞典、韓日辞典、日韓英固有名詞辞典で、字母を選んでハングルの候補を絞り込むことができます。

例 朝鮮語辞典で「박」を入力するには、以下のようにします。

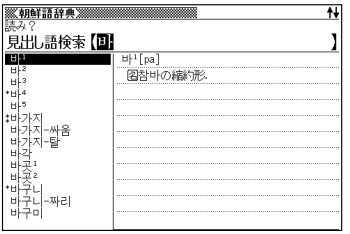
操　作	画　面
記号を押す 子音の候補が表示されます。	
▲▼◀▶で「ㅂ」を反転させ、 訳／決定を押す 「ㅂ」が表示されます。	

次ページに続く

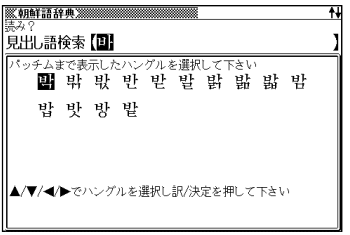
記号**を押す**
母音まで含むハングルの候補が表示されます。



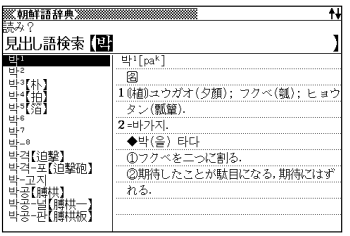
▲▼◀▶で「바」を反転させ、
訳／決定**を押す**
「바」が表示されます。



記号**を押す**
パッチムまで含むハングルの候補が表示されます。



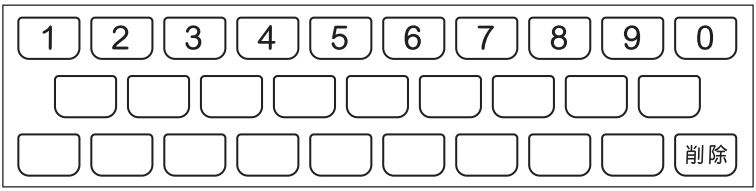
▲▼◀▶で「박」を反転させ、
訳／決定**を押す**
「박」が表示されます。



■ 数字の入力

本機では、辞典での検索のときのほか、電卓を使うときも数字入力ができる状態になります。

数字入力のときに使うキー



■ 文字を直す

まちがって入力した文字は、次のようにして直します。

最後の文字を消すとき

設定 削除を押します。
押すごとに、最後の文字が消えていきます。

途中の文字を消すとき

◀ ▶でカーソル（_）を直したい文字の下に移動し、設定 削除を押します。

途中の文字を直すとき

本機は、お買い上げいただいたときは文字入力が「挿入」状態になっています。
「挿入」状態では、文字の修正は以下のようにします。

•「上書き」状態に変更するには ➔ **274**ページ

次ページに続く

例「なあかまど」を「ななかまど」に修正する

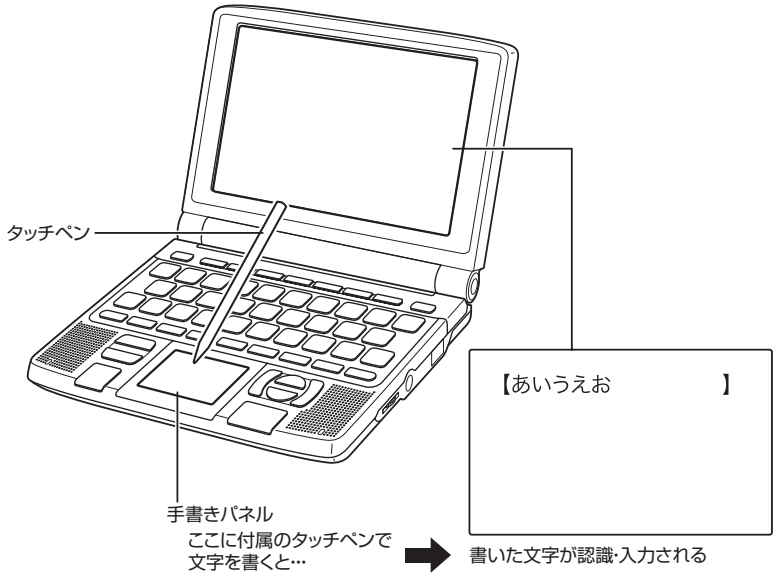
操　作	画　面
◀ ▶でカーソル（_）を直したい文字（あ）の下に移動する	なあかまど
設定 削除を押す 「あ」が消えます。	なかまど
「な」を入力する	ななかまど

- 「上書き」のときにこの操作をすると、最後の「な」が「か」に置き換わり、「ななまど」になります。

手書き入力：手書きパネルを使って・・・・・・・・・

本機では、キーボードに加えて手書きパネルを使って文字を入力することができます。
手書きパネルには、付属のタッチペンを使って文字を書き込みます。

- タッチするときは、力を入れる必要はありません。軽く触ってください。



手書きパネル表面を強く押したり、力を込めて入力したりしないでください。
手書きパネルに傷が入ったり、割れたりすることがあります。

次ページに続く

手書き入力できる文字の種類

本機では、以下の文字を手書きで入力できます。

- ひらがな、カタカナ
- 漢字（日本語系の辞典用）
- 中国語簡体字（中国語系の辞典用）
- ハングル（韓国語系の辞典用）
- アルファベット（A ～Z、a ～zの52字）
- アクセント符号つきのアルファベット（á、é、í、ó、ú、ç、ñなど）
- 数字（0 ～ 9の10字）

手書き入力の方法を使うと、キーボードからは入力できない漢字やアクセント符号つきのアルファベットなども直接入力できます。

手書き入力ができるときは

画面の上部に、手書き入力できる文字の種類が表示されます。

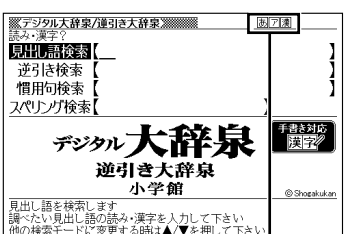


表　示	入力できる文字	表　示	入力できる文字
あ	ひらがな	가	ハングル
ア	カタカナ	a	アルファベット
漢	漢字	á	アクセント符号つきアルファベット
汉	中国語簡体字	1	数字

- 表示される文字の種類は、最大で3種類です。
- 中国語簡体字、ハングル、アクセント符号つきアルファベットは、それらを使う辞典を収録していない機種では入力できません。ただし、それらを使う別売ソフトを使用するときは入力できます。
- 辞典によっては、最初のページに表示される検索語入力方法の中に、手書きで入力することが指定されているものがあります。
  例「漢字源」の「単漢字／熟語を手書き入力から探す」

■ 手書き入力のふたつの方法

手書き入力は、次のいずれかの方法で進めます。

方法1 ▶ **一文字一文字、正しく認識されたか確認して入力** →このページ

一文字ごとに 認識 を使います。まちがって認識されたら訂正します。

方法2 ▶ **正しく認識されたかどうかは気にせず、何文字かまとめて入力** →61ページ

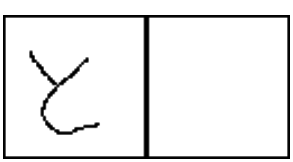
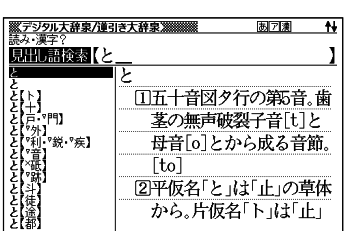
まちがって認識された文字はあとで訂正します。

- このほか、手書きで字を書くと、何もしなくても約1秒後に自動的に認識されるようにすることもできます。➔ **274**ページ

■ 一文字一文字、正しく認識されたか確認して入力

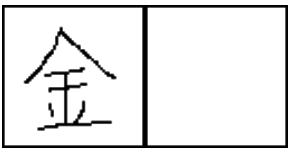
手書きで字を書いては 認識 をタッチする、という操作を繰り返します。文字を入力する状態で、以下のようにします。

- ここでは、日本語系の文字（ひらがなと漢字）を使った例で説明します。

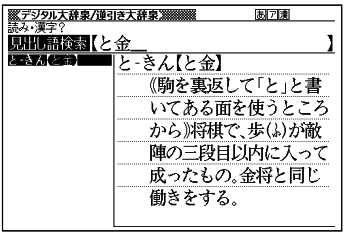
操　作	画　面
手書きパネルの左欄に字を書く • 書き直したいとき 訂正 をタッチして入力欄をクリアーします。	
認識 をタッチする 画面の入力欄に、手書きの文字が認識、入力されます。 • 正しく認識されなかったときは 訂正 をタッチします。➔ **64**ページ	

次ページに続く

手書きパネルの左欄に次の字を書く



認識をタッチする
画面の入力欄に、手書きの文字が認識、入力されます。



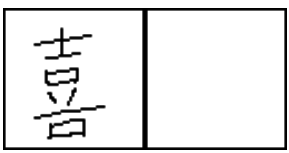
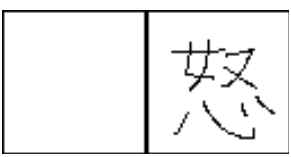
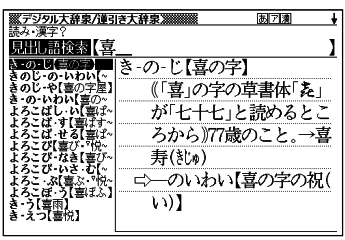
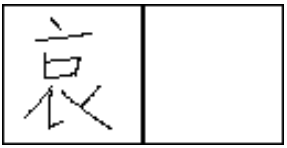
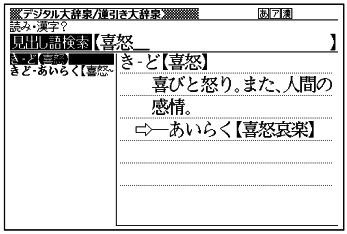
手書き→認識をタッチする、の操作を繰り返し、希望のことばを入力する

- ことばを入力してからの、検索などのしかたは、キーボードを使って検索語を入力したときと同じです。
- 手書きで字を書いているときに本機のキーを押すと、手書きの操作は無効になります。
- ひらがな、カタカナ、漢字は、JISX0213-2004とJISX0212-1990に準拠しています。(ただし、JIS第三水準漢字、JIS第四水準漢字、補助漢字を除きます。)
- 「漢字源」だけは、JIS第三水準漢字、JIS第四水準漢字、補助漢字も認識されます。

■ 何文字かまとめて入力する

手書きパネルの左右の入力欄を使って次々に文字を書きます。
文字を入力する状態で、以下のようにします。

- ここでは、日本語系の文字（漢字）を使った例で説明します。

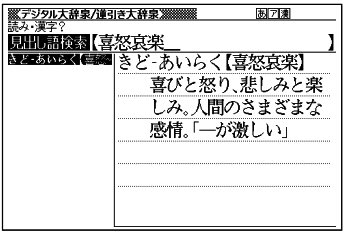
操　作	画　面
手書きパネルの左欄に字を書く	
続けて、手書きパネルの右欄に字を書く 右欄に字を書き始めると左欄に書いた文字が認識、入力されます。 	
さらに、左欄に字を書く 右欄に書いた文字が認識、入力されます。 	

次ページに続く

右欄と左欄に交替で字を書く操作を続け、希望のことばを入力する

- 正しく認識されていない字があるときは

訂正をタッチします。➔ **64**ページ



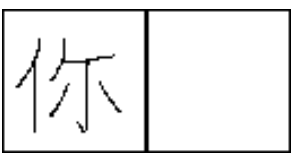
希望のことばの最後の字を書いたら認識を押す

- ことばを入力してからの、検索などのしかたは、キーボードを使って検索語を入力したときと同じです。
- 二桁の数を入力するときは、パネル内に一桁ずつ手書きしてください。

■ 日本語系の字以外の入力例

中国語簡体字、ハングル、アクセント符号つきアルファベットは、それらを使う辞典を収録していない機種では入力できません。ただし、それらを使う別売ソフトを使用するときは入力できます。
以下の説明は、必要に応じてお読みください。

中国語（簡体）の場合（「中日辞典」で）



「你」と書く

➔ 認識

- 中国語簡体字は、GB18030-2000に準拠の字が認識されます。
- ピンインを手書きで入力することはできません。

中国語（簡体）のピンインをキーボードと手書きパネルで入力する

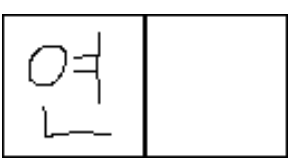
ピンインが入力できる状態では、手書きパネルは以下のようになります。

アルファベットの音節をキーボードで入力したら、手書きパネルに表示された四声（ˉ、ˊ、ˇ、ˋ）および軽声（•）をタッチします。

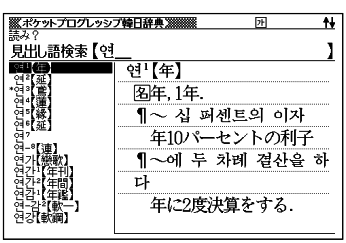
例

「zaijian（再见）」は、キーボードでZ A I と入力し、手書きパネルの四声ˋをタッチ、続けてキーボードでJ I A Nと入力し、手書きパネルの四声ˋをタッチします。

韓国語の場合（「韓日辞典」で）



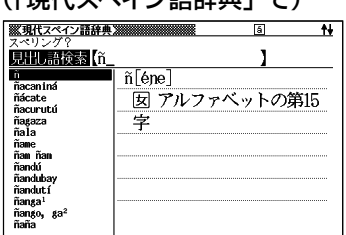
「연」と書く



- ハングルは、KSC5601に準拠の字が認識されます。

アクセント符号つきアルファベットの場合（「現代スペイン語辞典」で）

「ñ」と書く



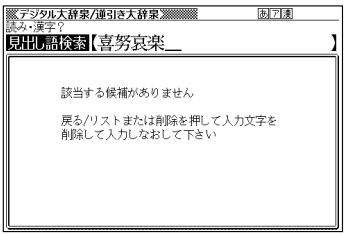
- アクセント符号つきアルファベットは、画面の入力欄に書いたまま表示されます。ただし、検索するときはアクセント符号なしの文字として扱われます。

次ページに続く

■ まちがって認識された文字の訂正

「あ」と書いたのに、入力欄には「お」と表示された、など、正しく認識されなかったときは、以下のように訂正します。

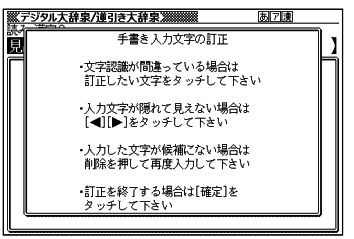
- ここでは、「喜怒哀楽」と書いたのに「喜努哀楽」とまちがって認識された場合を例に説明します。



操　作	画　面

訂正をタッチする

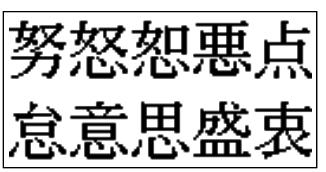
手書きパネルに、認識された文字が表示され、画面には訂正のしかたが表示されます。



- 長いことばのときは、後ろの部分から表示されます。隠れている部分を見るときは、◀ ▶をタッチして左右に送ります。

間違って認識された字(ここでは「努」)をタッチする

手書きパネルに、文字の候補（10文字まで）が表示されます。



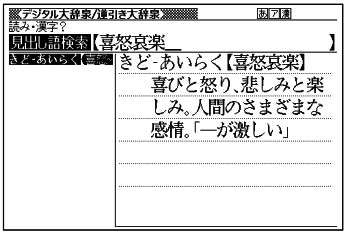
正しい字が見つからない場合

設定 削除を押します。入力欄の、まちがって認識された文字が削除されますので、もう一度手書きで書き直してください。

正しい字（ここでは「怒」）が見つかったら、タッチする
手書きパネルに、訂正後の状態が表示されます。

- ことばが長すぎて訂正後の字が隠れて見えないときは、◀ ▶をタッチして左右に送ります。

確定をタッチする
入力欄の字が訂正されます。



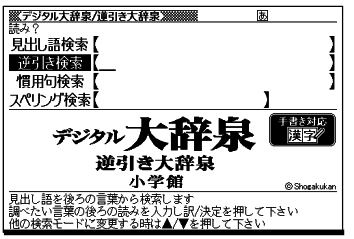
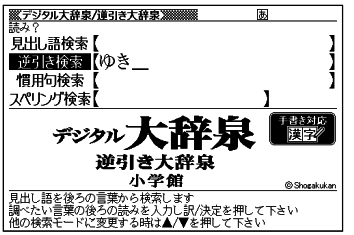
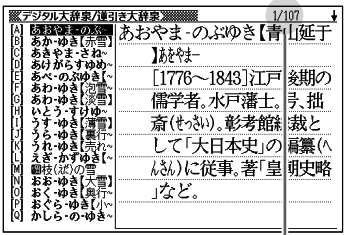
検索のしかた：国語辞典の場合

ここでは、「デジタル大辞泉／逆引き大辞泉」を使って、もう少し日本語の検索の練習をしてみます。

■ 最後が「○○」で終わることばを探す：逆引き大辞泉

最後が「雪」「行」など、「ゆき」で終わることばにはどんなものがあるでしょうか。
「デジタル大辞泉／逆引き大辞泉」の「最初のページ」から、次のように調べていきます。

次ページに続く

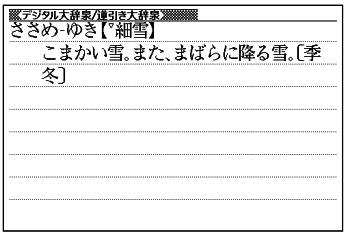
操　作	画　面
▲▼で「逆引き検索」を選ぶ	
「ゆき」と入力する	
訳／決定を押す 「デジタル大辞泉」には、「ゆき」で終わることばが107ありました。	

1/107 :「ゆき」で終わることばは全部で107。「あおやまのぶゆき」は、そのうちの1番目。

▲▼で意味を調べたいことばを探す

⏫⏬を押すと、リストが画面単位で切り替わります。

意味を調べたいことばを選び、
訳／決定を押す
または、先頭のアルファベット（A、B、Cなど）のキーを押します。



■ ひとつのことばを手がかりに慣用句を探す：慣用句検索

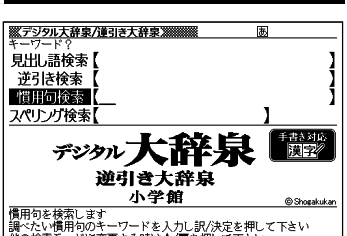
慣用句検索のポイント
日本語にはどんな慣用句があるかを調べますが、全文を入力するのではなく、名詞や動詞の終止形を入力するのがポイントです。

例

入力することば	見つかる慣用句
さる	「一難**去って**また一難」、「**猿**も木から落ちる」、など
にごす	「跡を**濁す**」、「お茶を**濁す**」、「立つ鳥跡を**濁さず**」、など

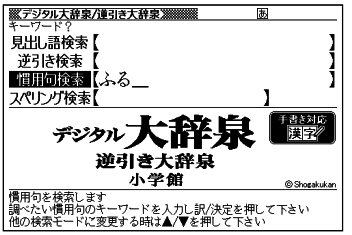
では、「ふる」と入力するとどんな慣用句が見つかるでしょうか。やってみましょう。
「デジタル大辞泉／逆引き大辞泉」の「最初のページ」から、次のように調べていきます。

操　作	画　面
▲▼で「慣用句検索」を選ぶ	

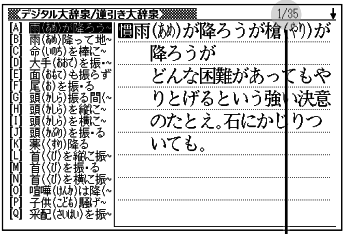


次ページに続く

「ふる」と入力する



訳／決定を押す



全部で35の慣用句が見つかりました。

•以下、自由に慣用句の意味を調べましょう。

■ 英語などのスペルで調べる：スペリング検索

「デジタル大辞泉」には、見出し語に英語などのスペルが付記されているものがあります。

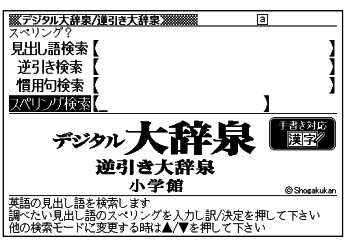
例 ダイヤモンド-ダスト【diamond dust】

本機では、日本語ではなく、英語などのスペルを入力して調べることもできます。

スペリング検索のポイント

ハイフン（-）やスペース（空白）は省略します。
（例：×diamond dust　○diamonddust）

「ground」と入力して意味を調べてみましょう。
「デジタル大辞泉／逆引き大辞泉」の「最初のページ」から、次のように調べていきます。

操　作	画　面
▲▼で「スペリング検索」を選ぶ	
「ground」と入力する	
訳／決定を押す	

- 以下、リストからことばを選んで意味を調べてみましょう。

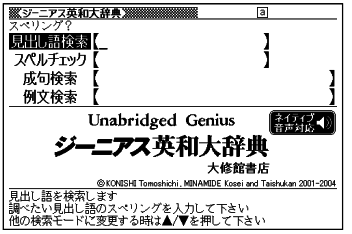
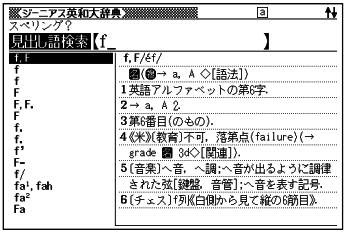
検索のしかた：英和辞典の場合

ここでは、「ジーニアス英和大辞典」を使って、英和辞典の使いかたを練習してみます。

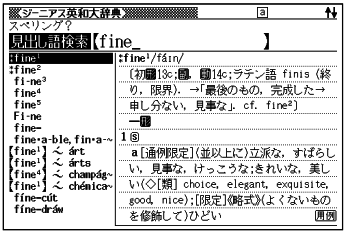
■ 調べたいことばを入力する：見出し語検索

もっとも基本的な使いかたです。調べたいことばの最初の何文字かを入力します。
ここでは、「fine」ということばの意味を調べてみましょう。
「ジーニアス英和大辞典」の最初のページから、次のように調べます。

- 「ジーニアス英和大辞典」は、メニューの「英語系」の中にあります。

操　作	画　面
▲▼で「見出し語検索」を選ぶ	
「f」と入力する 「f」ではじまる語の一覧が表示されます。	

続いて、「ine」と入力する
「fine」が見つかりました。



- 以下、リストでことばを選び、その意味を調べましょう。

スペル入力のポイント

- ハイフン（-）やスペース（空白）は省略します。
  （例：×heaven-sent　○heavensent）
- 複合語（2語以上からなる見出し語）は、スペルを続けて入力します。
  （例：×absolute altitude　○absolutealtitude）
- 「&」は「and」と入力します。

スペルを完全に覚えていないとき

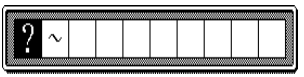
スペルの記憶があいまいでも、不確かな部分は「?」や「～」で代用して検索できます。

- 「?」は、シフトを押し、離してからKを押して入力します。
- 「～」は、シフトを押し、離してからLを押して入力します。
- **「?」はひとつで一文字の代用です。（ワイルドカード）**
  （例：「subordinate」の下線のスペルがあいまいなとき ➔「sub?rdi??te」と入力）
- **「～」はひとつで連続する数文字の代用です。（ブランクワード）**
  （例：「subordinate」の下線のスペルがあいまいなとき ➔「sub ～ te」と入力）

次ページに続く

「?」や「～」を一覧から入力するには

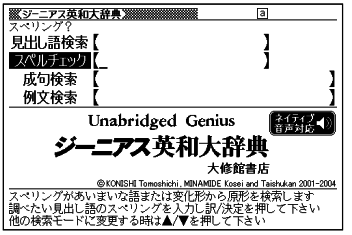
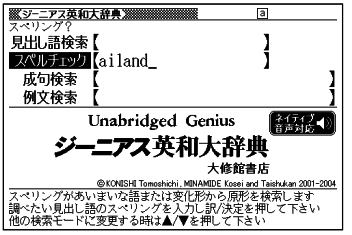
記号を押すと、記号選択画面が表示されます。



◀ ▶で入力したい記号を反転させ、訳／決定を押します。
何も入力しないで記号選択画面を閉じるには、戻る/リストを押します。

■ 英単語のスペルをチェックする：スペルチェック

スペルの不確かな単語を、適当に入力しても、本機がそれに近いスペルの単語を探してくれます。単語の意味と合わせて正しいスペルを調べたいときに、この検索方法が使えます。
ここでは、ailand（正しいスペルはisland）と入力してみましょう。
「ジーニアス英和大辞典」の最初のページから、次のように調べます。

操　作	画　面
▲ ▼で「スペルチェック」を選ぶ	
「ailand」と入力する	

訳／決定**を押す**

スペルが「ailand」に近い単語のリストが表示されます。

▼を押して目的の単語を探します。

目的の単語は、「island」のようです。

- 以下、リストでことばを選び、その意味を調べましょう。
- スペルチェックの機能を使うと、入力したスペルに近い単語のほか、入力したスペル(活用形など)の原形と思われる単語の候補も表示されます。(必ず正しい原形が表示されるとは限りません。また、収録された見出し語にない単語の活用形などを入力しても原形は表示されません。)

■「見出し語検索」から正確なスペルを調べるには

「見出し語検索」(➔ **70**ページ)であいまいなスペルを入力しさらに検索を押す。

スペルチェック機能がはたらき、入力したスペルに近い単語のリストが表示されます。見出し語検索結果の一覧に、希望の見出し語が見あたらなかったときにご利用ください。

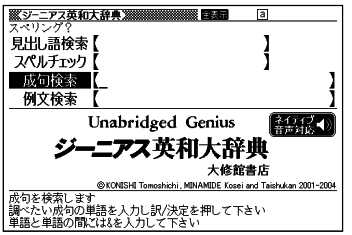
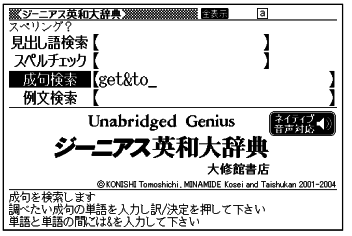
次ページに続く

■ 英単語の成句（熟語）を調べる：成句検索

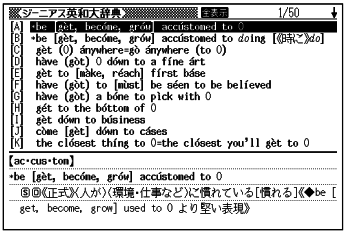
英語の単語をいくつか組み合わせてできる成句（熟語）の意味を調べることができます。

成句検索のポイント

成句で使われる単語を「&」でつないで入力します。
ここでは、「get」と「to」というふたつの単語を使ってできる成句を検索してみます。
「ジーニアス英和大辞典」の最初のページから、次のように調べます。

操　作	画　面
▲▼で「成句検索」を選ぶ	
「get&to」と入力する	

訳／決定を押す
「get」と「to」を使った50の成句が見つかりました。



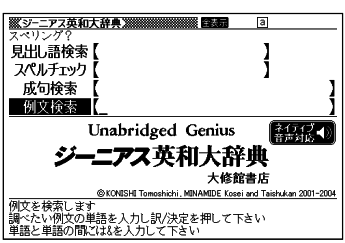
- 以下、リストで成句を選び、その意味を調べましょう。
- リストの候補数が多い場合、さらに単語を追加したり、単語の語順を指定して候補を絞り込むことができます。（例文や成句の絞り込み検索➔125ページ）

■ 英単語を使った例文を調べる：例文検索

「ジーニアス英和大辞典」に記載されている例文だけを拾い出すことができます。
ひとつまたはふたつ以上の単語を入力すると、入力した単語を使った例文が表示されます。

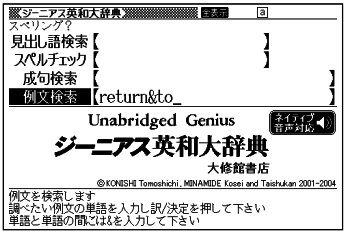
例文検索のポイント
ふたつ以上の単語を入力するときは、単語を「&」でつなぎます。

ここでは、「return」と「to」を使った例文を検索してみます。
「ジーニアス英和大辞典」の最初のページから、次のように調べます。

操　作	画　面
▲▼で「例文検索」を選ぶ	

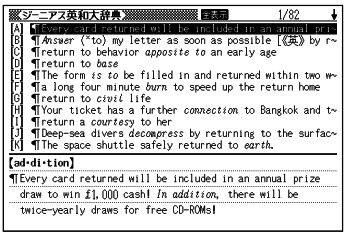
次ページに続く

「return&to」と入力する



訳／決定**を押す**

「return」と「to」を使った82の例文が見つかりました。



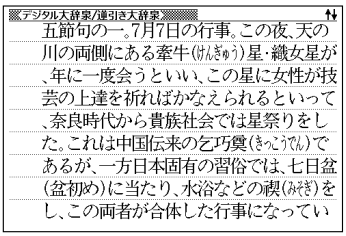
- 以下、リストで例文を選び、その意味を調べましょう。
- リストの候補数が多い場合、さらに単語を追加したり、単語の語順を指定して候補を絞り込むことができます。（例文や成句の絞り込み検索➔125ページ）

検索結果画面での基本操作

ことばの意味や解説など、辞典の中身が表示されているとき、次の操作ができます。

■ 説明の続きを見る

意味や説明が画面に収まりきらないとき、画面右上に↑↓が表示されます。

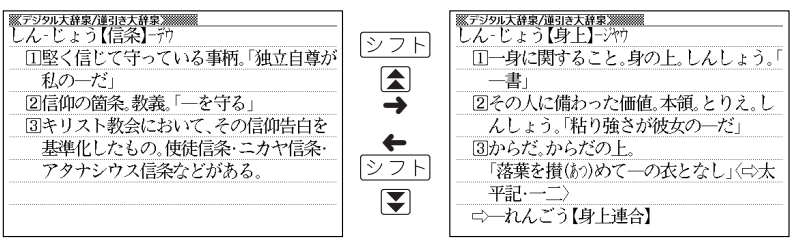


以下のキーで説明の前後を見ることができます。

キー	働き
▲ ▼	1行ずつ上へまたは下へと送る（行送り） 押し続けると、早く送ることができます。
⏫ ⏬	画面単位で上または下へと送る（ページ送り）

■ 前後の見出し語に切り替える

ことばの意味の画面で シフト を押し、離してから ⏫ ⏬ を押すと、ひとつ前またはひとつ後の見出し語の意味に切り替わります。



次ページに続く

手書きパネルを使って

ことばの意味の画面では、手書きパネルは次のようになっています。

[前見出し送り]または[次見出し送り]をタッチすると、ひとつ前またはひとつ後の見出し語の意味に切り替わります。

■ 別の辞典に切り替える

メニュー/単語帳 を押してメニュー画面に切り替え、そこから別の辞典を選びます。

• 辞典／モードキーで一発切り替え ➔ **80**ページ